



2012年3月期 第2四半期決算説明会

2011年11月17日(木)

【注記】

本資料に掲載されている東邦ホールディングス株式会社の現在の計画、見通し、戦略、確信等のうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、リスクや不確実な要因を含んでおります。

これらの情報は、現在入手可能な情報から東邦ホールディングス株式会社の経営者の判断に基づいて作成されております。実際の業績は、さまざまな重要な要素により、業績見通しとは大きく異なる結果となりうるため、業績見通しのみにも全面的に依拠することは控えるようお願い致します。

また、本資料は、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断において行われるようお願い申し上げます。

本日の内容

1. 2012年3月期第2四半期の概要と今後の見通し

執行役員財務部長 荻野 守

2. 共創未来グループ

取締役副社長 河野 博行

3. グループ戦略

代表取締役社長 濱田 矩男

4. 参考資料



1. 2012年3月期第2四半期の 概要と今後の見通し

執行役員財務部長 荻野 守

2012年3月期第2四半期決算の概要

引き続き厳しい環境の中、適正利益の確保と経費削減に取り組み、利益面では当初計画を大幅に達成

- **価格ロックシステムの厳格な運用**
- **顧客支援システムを活用した提案型営業の成果**
- **メーカーへの情報提供によるフィービジネスの伸長**
- **調剤薬局事業の拡大、経営効率化**
- **TBC九州が稼働し、九州・沖縄地区への供給力が向上**
- **アスカム合併後の合理化・効率化による人件費等の削減**
- **予算統制によるコスト意識の定着化と日常経費削減**

P/L (連結合計)

	2011年3月期 第2四半期	2012年3月期第2四半期				2012年3月期 予想	進捗率 (%)
		計画	実績	前同比 (%)	計画比 (%)		
売上高	519,858	530,000	539,360	103.75	101.77	1,075,000	50.17
売上総利益	44,995	45,300	45,117	100.27	99.60	92,200	48.93
売上比 (%)	8.66(9.03)	8.55	8.36			8.58	
販売管理費	39,935	42,400	41,006	102.68	96.71	85,300	48.07
売上比 (%)	7.68(8.02)	8.00	7.60			7.93	
営業利益	5,060	2,900	4,110	81.23	141.72	6,900	59.57
売上比 (%)	0.97	0.55	0.76			0.64	
経常利益	7,140	4,400	6,059	84.86	137.70	9,500	63.78
売上比 (%)	1.37	0.83	1.12			0.88	
当期純利益	3,692	2,300	3,364	91.12	146.26	4,900	68.65
売上比 (%)	0.71	0.43	0.62			0.46	

注) 表中の()は共同仕入によるショウエーの連結前売上21,712百万円を除いて計算

B/S (連結合計)

	2011年3月期		2012年第2四半期			主な増減要因 (百万円)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	
流動資産	388,666	74.98	378,745	73.41	△9,921	現預金8,076減少 売掛金等805増加 商品4,041減少
固定資産	129,722	25.02	137,219	26.59	7,497	建物及び構築物2,155増加 有形リース資産1,284増加 投資有価証券5,167増加
資産合計	518,389	100.00	515,965	100.00	△2,424	
流動負債	364,624	70.34	359,611	69.70	△5,013	買掛金等10,323減少 短期借入金5,084増加
固定負債	42,848	8.27	41,469	8.04	△1,379	長期借入金3,400減少 長期リース債務1,079増加 繰延税金負債1,647増加
負債合計	407,472	78.60	401,080	77.73	△6,392	
純資産	110,916	21.40	114,884	22.27	3,968	資本剰余金3,259増加 利益剰余金2,643増加 自己株式△2,460増加
負債純資産合計	518,389	100.00	515,965	100.00	△2,424	

キャッシュフローの状況

単位:百万円

	2011年第2四半期	2012年第2四半期	2012年第2四半期の主な要因
現金(同等物)の 期首残高	22,645	29,111	
営業活動	5,453	△5,926	税引前利益 6,236 売上債権の増加 △4,444 仕入債務の減少 △10,897 棚卸資産の減少 5,596
投資活動	151	△2,569	有形固定資産の取得 △1,148 関係会社株式の取得 △1,260
財務活動	△3,179	△1,710	長期借入 1,912 自己株式の取得 △2,460 配当金の支払 △595
現金(同等物)の 期末残高	25,327	19,813	

P/L (医薬品卸売事業)

単位:百万円

	2011年3月期 第2四半期	2012年3月期第2四半期				2012年3月期 予想	進捗率 (%)
		計画	実績	前同比 (%)	計画比 (%)		
売上高	503,194	510,000	519,870	103.31	101.94	1,034,000	50.28
売上総利益	35,396	33,800	33,610	94.95	99.44	68,400	49.14
売上比 (%)	7.03(7.35)	6.63	6.47			6.62	
販売管理費	31,005	32,600	31,835	102.68	97.65	65,400	48.68
売上比 (%)	6.16(6.44)	6.39	6.12			6.32	
営業利益	4,391	1,200	1,774	40.40	147.83	3,000	59.13
売上比 (%)	0.87	0.24	0.34			0.29	
経常利益	7,265	3,500	4,417	60.80	126.20	7,500	58.89
売上比 (%)	1.44	0.69	0.85			0.73	
当期純利益	4,126	2,200	2,791	67.64	126.86	4,600	60.67
売上比 (%)	0.82	0.43	0.54			0.44	

注) 表中の()は共同仕入によるショウエーの連結前売上21,712百万円を除いて計算



2. 共創未来グループ

取締役副社長 河野 博行

■価格交渉の状況

- 価格水準は期初想定範囲内で推移
- 妥結率
- 薬価差圧縮率
- 平成24年度薬価改定
- 薬価改定、診療報酬改定動向を注視

■ Meissa MSプロモーションは順調に拡大中

トピックス（医薬品卸売事業）

2011年 4月 ショウエー子会社化
TBC九州竣工（熊本県荒尾市）

2011年10月 小泉薬品（検査薬卸）を東邦薬品の子会社化
東邦、小泉、ショウエーの合算シェア（検査薬）
東北6県27.9%（1位） 宮城42.7%（1位）

2012年 1月 東邦薬品とショウエーの経営統合
統合後シェア
東北6県21.6%（2位）
青森39.4%（1位） 岩手21.7%（2位）

ショウエーの会社概要

株式会社ショウエー 営業所



売上高の推移

(単位:百万円)



販売構成比

部門	構成比
医療用医薬品	97.4%
医療用機器	0.9%
その他	1.7%
合計	100.0%

沿革

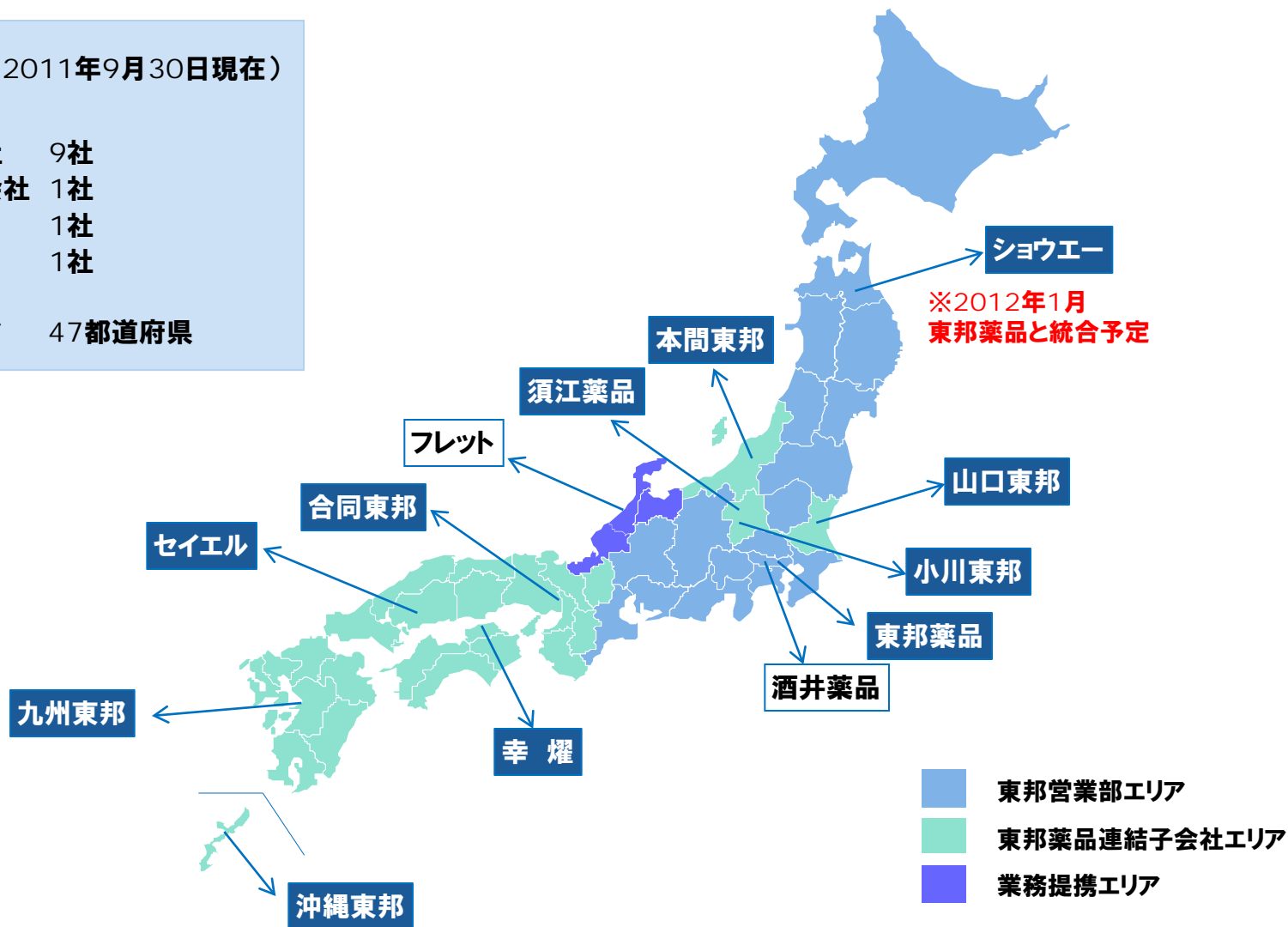
平成4年4月	鶴又薬品(株)、八戸薬品(株)、田村薬品(株)三社合併。本社を青森市奥野一丁目6-2へ移転し、社名を『株式会社ショウエー』と変更
平成11年10月	東邦薬品(株)と業務提携
平成14年10月	秋田県一部営業権を東邦薬品(株)へ譲渡、青森県を東邦薬品(株)より譲受
平成15年11月	岩手県営業権を東邦薬品(株)より譲受
平成16年10月	東邦薬品と共同仕入れ開始
平成21年11月	創立80周年
平成23年4月	株式交換により、東邦ホールディングス(株)の完全子会社となる

共創未来グループ

■グループ数 13社(2011年9月30日現在)

- 東邦薬品
- 連結子会社 9社
- 非連結子会社 1社
- 資本提携 1社
- 業務提携 1社

■グループ販売エリア 47都道府県

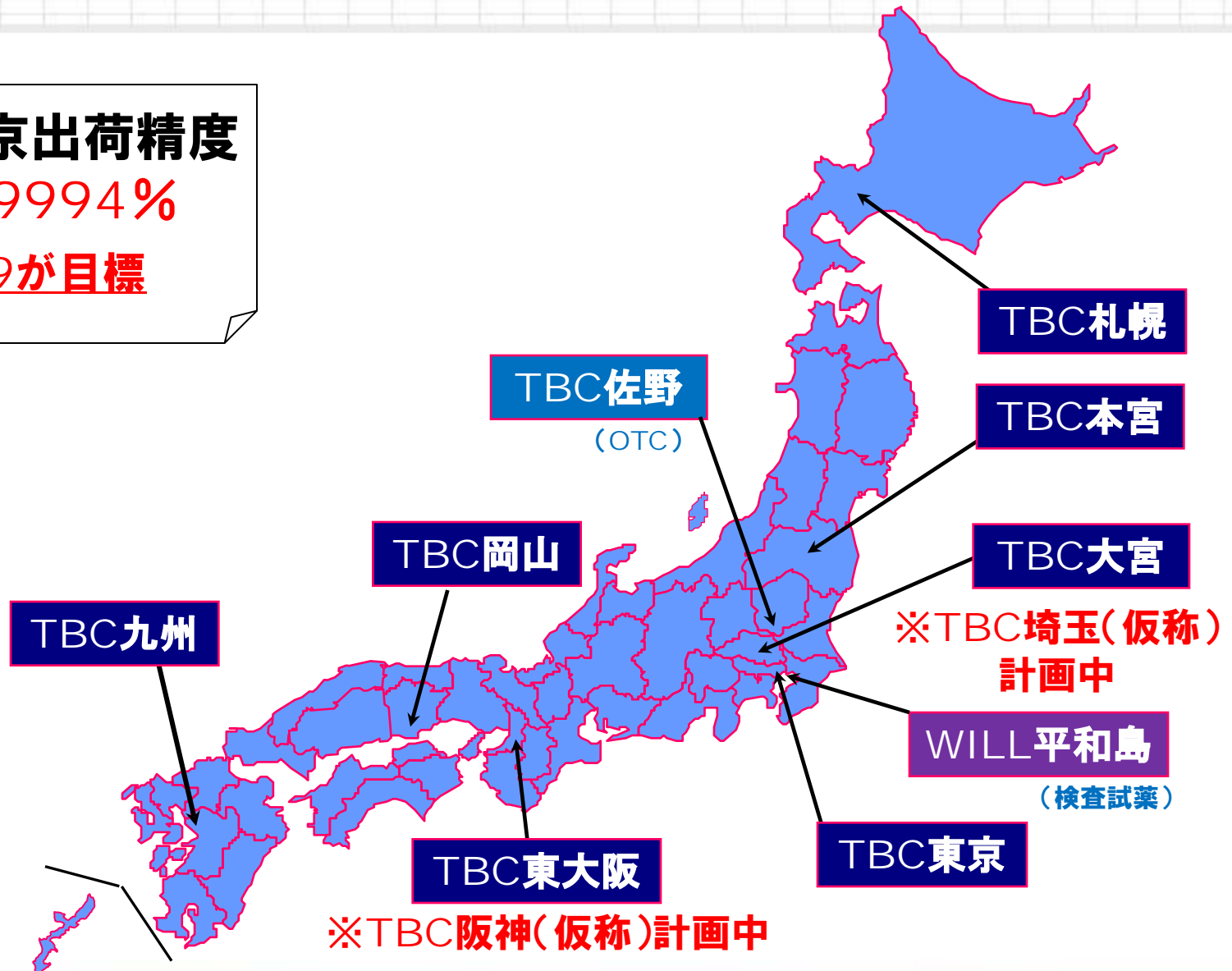


共創未来グループ 物流センター 分布図

TBC東京出荷精度

99.99994%

セブン9が目標

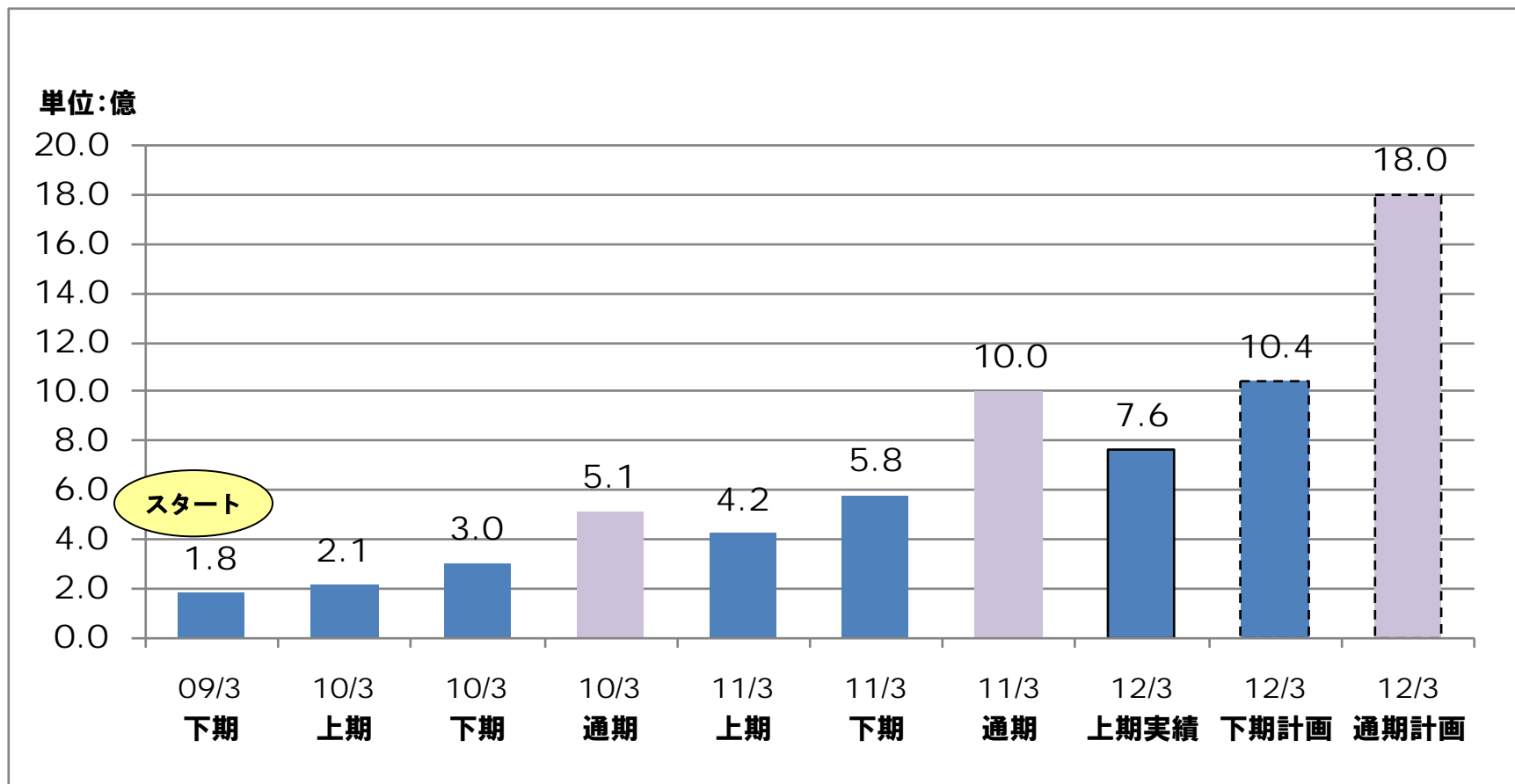


新物流センター建設計画

TBC大宮、TBC東大阪に替わる物流センターを建設

センター名	TBC埼玉(仮称)	TBC阪神(仮称)
所在地	埼玉県久喜市菖蒲町(地番は未定)	兵庫県伊丹市鴻池七丁目86番
敷地面積	28,502.48平方メートル(約8,622.0坪)	31,214.08平方メートル(約9,442.3坪)
建築面積	12,031.07平方メートル(約3,639.6坪)	11,798.06平方メートル(約3,568.9坪)
延床面積	33,928.10平方メートル(約10,263.2坪)	28,761.25平方メートル(約8,700.3坪)
構造	RCSS造(柱RC造、梁S造) 地上3階建	鉄骨造地上2階建(一部3階建)
取扱品目数	約30,000品目	約25,000品目
最大出荷能力	月間400億円	月間250億円
取扱品目	医療用医薬品、一般用医薬品、医療機器、医療材料、検査薬等	医療用医薬品、一般用医薬品、医療機器、医療材料、検査薬等
カバーエリア	埼玉、茨城、栃木、群馬、新潟、青森、岩手、秋田、(宮城、福島、山形)	大阪、兵庫、京都、滋賀、奈良、和歌山、愛知、岐阜、三重
着工予定	平成24年3月	平成24年4月
竣工予定	平成25年3月	平成25年2月
稼働予定	平成25年8月	平成25年5月
費用総額	約99億円(土地14億円、建物・設備他85億円)	約74億円(土地28億円、建物・設備他46億円)

フィービジネス(Meissa MSプロモーション)





3. グループ戦略

代表取締役社長 濱田 矩男

2012年3月期 上期総括

上期業績は計画比順調に推移

2011年 6月 **自己株式取得発表**
総額40億円

2011年10月 **e健康ショップ**
「おくすり予約」スタート

自己株式取得について

2011年10月31日現在

取得を行う理由

機動的な資本政策の遂行を可能とするため

取得に係る決定事項

取得対象株式の種類	普通株式
取得し得る株式の総数	600万株
株式の取得総額	40億円(上限)
取得期間	平成23年7月1日～平成24年3月31日

取得状況

取得期間	平成23年7月1日～平成23年10月31日
取得した株式の総数	3,936,900株
株式価額の総額	3,373,361,500円

物流システムのテーマ

出荷精度(99.99994%:直近1年のTBC東京)を「セブン9」へ向上
月間平均出荷行数 約125万行 月間平均誤出庫行数 0.75行

ロット・期限管理のトレーサビリティ向上

省力化を図る新ピッキング方式採用 ⇒ 省力効果

ピッキングロボット

得意先別、配送担当者別、得意先配送順のピッキング

東日本大震災の教訓を踏まえた災害対策

無停電装置設置

WILL平和島(検査薬センター)の代替機能(TBC阪神)

e健康ショップ

10月9日スタート

Be Healthy & Happy

e健康ショップ

おくすり予約



受取薬局様 登録軒数 11,527 軒

受注件数 1,809 件

(11月14日現在)



一般用医薬品をWebサイトで予約後
薬局で薬剤師による対面販売

一般用医薬品の分類(第一類、第二類、第三類)が画面で確認・確実な購入予約

かかりつけ薬局を受け取り薬局に指定する事で、普段服用している処方薬との相互作用や重複服用のチェックが可能 → 薬剤師の適正な指導を受けることができる

在庫を持たずに販売できるので在庫負担や在庫ロスの不安から解放

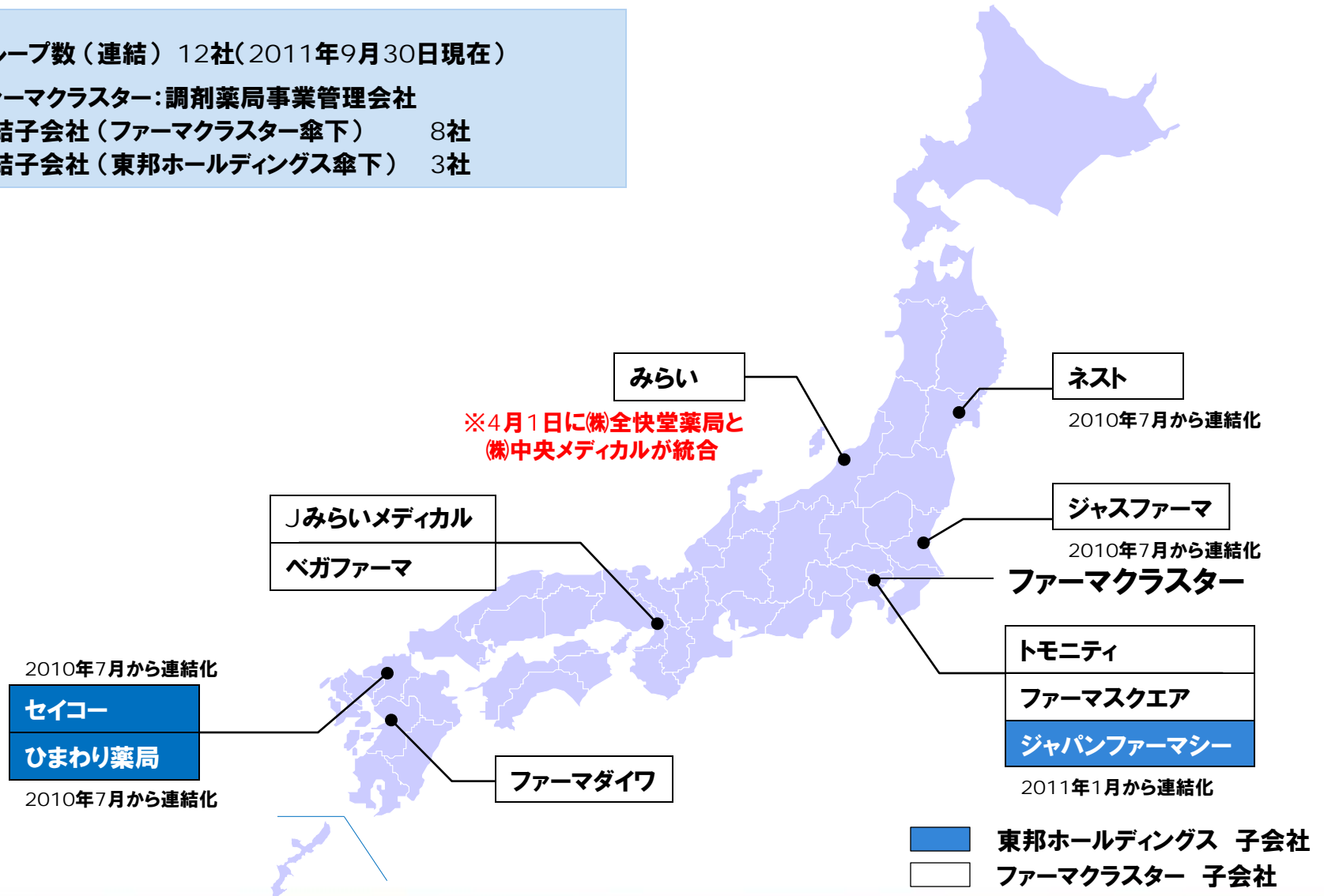
処方薬と一般用医薬品をトータルで管理することで、副作用の早期発見や患者様一人一人に応じた専門指導を行うことが可能になる → かかりつけ薬局としての価値向上

健康を願う全ての人々に安全な薬を確実にお届けいたします

調剤薬局事業

■グループ数（連結） 12社(2011年9月30日現在)

- ファーマクラスター:調剤薬局事業管理会社
- 連結子会社（ファーマクラスター傘下） 8社
- 連結子会社（東邦ホールディングス傘下） 3社



薬局共創未来の活動

【会員数】597法人 約3,800店舗

(東日本: 329法人 約2,280店舗 / 西日本: 268法人 約1,520店舗)

■委員会活動内容 (2009年より活動スタート)

薬局機能強化委員会	医療制度や調剤報酬改定などの講演会の実施。会員企業のアイデアや仕組みを活用した課題解決の提案。薬局・薬剤師機能を強化するための仕組みづくり。 ・委員会…5回実施 (参加人数:延べ95名) ・講演会・セミナー…3回実施 (参加人数:延べ278名)
研修委員会	会員が問題・課題としている研修会の提案や研修プログラムの作成。 ・委員会…4回実施 (参加人数:延べ56名) ・研修会・セミナー…4回実施 (参加人数:延べ311名) ※今年10月にはフィジカルアセスメント・ベーシックセミナーを開催
商品開発委員会	薬剤師にしか取扱えない商品や他の薬局との差別化に繋がる商品、患者とのコミュニケーションツール等の開発。ジェネリック医薬品の推奨活動。 ・委員会…4回実施 (参加人数:延べ52名)
在宅支援委員会	在宅医療の機能を備えた地域密着型薬局を目指していくための知識や機能、制度などを研究。 ・委員会…5回実施 (参加人数:延べ80名) ・事例研究会…1回実施 (参加人数:123名)
総務委員会	管理業務における給与体系・人事考課・就業規則・雇用契約等の様々なガイドラインを作成し、経費削減、経営効率化を支援。 ・委員会…4回実施 (参加人数:延べ73名) ・セミナー…1回実施 (参加人数:105名) ※今年11月には社会保険労務士を呼んで勉強会を実施

薬局共創未来研究会：今年も東西合同で開催

<日時> 2011年12月11日(日) <場所> 野村コンファレンスプラザ日本橋 5,6F

配当について

【配当金予想】

今期は前期並みの年16円配当とします。

	中間	期末	年間
2012年3月期	8円	8円	16円
2011年3月期	8円	8円	16円

【配当に対する考え方】

今後とも、将来の収益基盤の強化と市況変動に備えた内部留保の充実に努めつつ、毎期の業績を勘案しながら柔軟な配当政策を実施する所存です。



4. 參考資料

Meissa MSプロモーション

Meissa



docomo
スマートフォン T-01B

- ・商談
- ・情報提供
- ・インタビュー
(市場調査)
(アンケート)
- ・コールセンター
やり取り
- ・納品業務
- ・問い合わせ対応



本部

3G

通話
PUSHメール
・受注通知

業務処理
・受注処理
・価格検索
・GE品検索
・売上実績検索
・在庫検索
・納入履歴検索
・分割品検索

動画プロモーション

緊急情報テロップ (緊急回収等)

入力処理
・音声自動認識

マスターデータ更新

無線LAN

メーカーへの情報提供



コールセンター



基幹業務システム



Advanced Media, Inc.



営業所サーバ

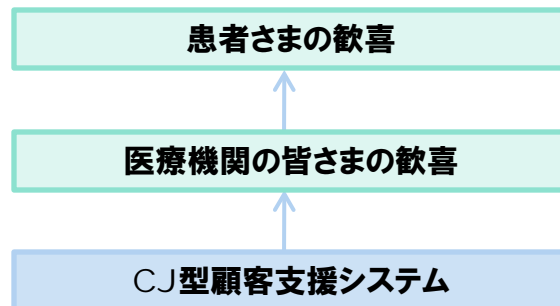


オリジナル市場
データベース

顧客支援ビジネスモデルの核

変化する患者さまと医療機関のニーズを敏感に把握して、独創的なサービスを提案。

当社は患者さまサービスの向上、医薬品と情報の安定供給に努めている。



CJとは: Customer's Joy 顧客歓喜

★ = 当社オリジナル

調剤薬局	
業務支援	★ENIF ★e-ENIF.net ★分割販売 レセプトコンピュータ ★ENIFvoice SP
分業支援	★ENIファーマシー
付加価値	★ENIF club ★薬局共創未来研究会 ★コールセンター ★出向薬剤師 ★人の輪.com ★e健康ショップ
開局支援	新規開局支援

クリニック	
診療予約	★LXMATE HeLios ★インターネット簡易版 ★SELENE
業務支援	★ENIF ★分割販売 電子カルテ レセプトコンピュータ
付加価値	★ENIF club ENIFビジョン ★コールセンター ★管理栄養士 ★ホームページ作成サービス (診療予約システム連動型)
開業支援	新規開業支援

病院	
診療予約	★LXMATE-V
業務支援	★ENIF ★分割販売 ★ENIFwin Nex-Sus 電子カルテ レセプトコンピュータ SPD(院内物流)
分業支援	★ENIファーマシー
付加価値	★ENIF club ENIFビジョン ★コールセンター ★管理栄養士 ★人の輪.com ★MDマネジメント

顧客支援システム ラインナップ

2011年9月30日現在



診療予約システム
「LXMATE HeLios/SELENE」

発売:1995年
累計:2,601台
カード発行枚数 700万枚



医薬品受発注・情報端末
「ENIF」

発売:1997年
累計:25,345台
全国調剤薬局の約4割で導入



医薬分業支援システム
「ENIFファーマシー」

発売:1998年
累計:767台
カード発行枚数:475万枚



会員制サービス
「ENIF Club」

開始:1998年
会員数:12,175軒
会員年間売上:2,322億円



経営管理支援システム
「e-ENIF.net」

発売:2008年
累計:763軒
本部と店舗の情報を可視化することで見える経営を強力にサポート。



総合型院内物流在庫管理システム
「ENIFwinNex-Sus」

発売:2010年
(※ENIFwinシリーズは2000年から発売)
累計: 8セット
(シリーズ計381セット)
院内物流の一元化を実現し、病院経営を幅広くサポート。



音声認識薬歴作成支援システム
「ENIFvoice SP」

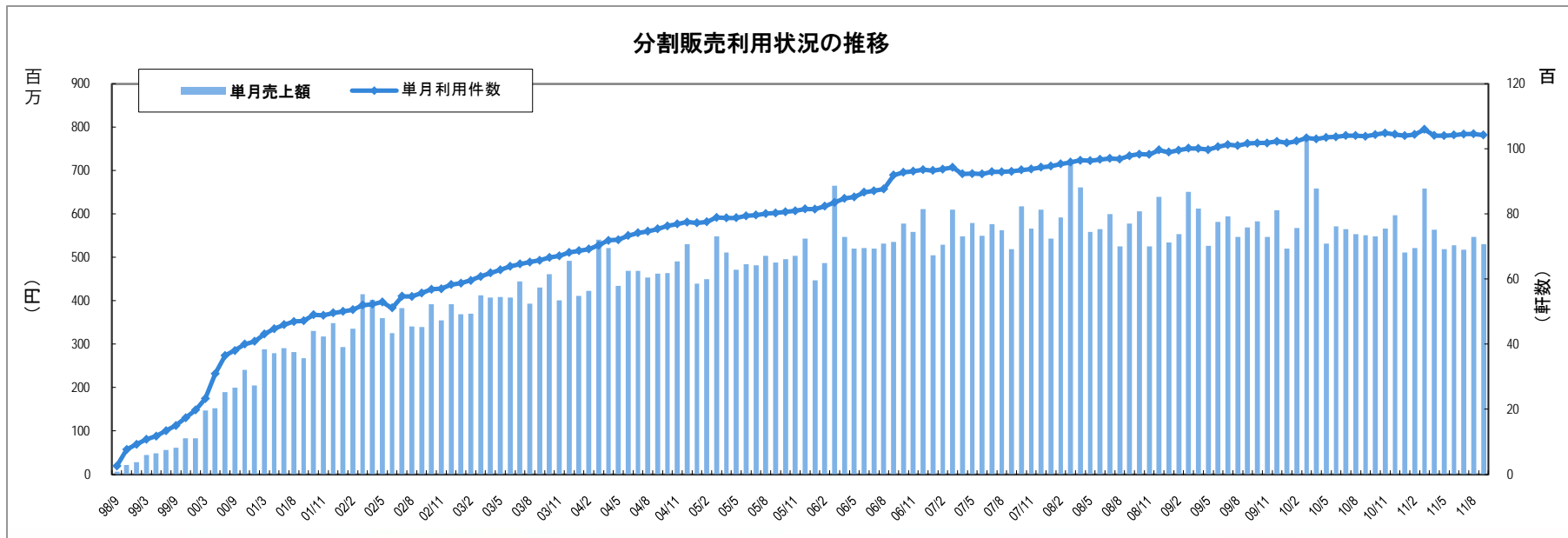
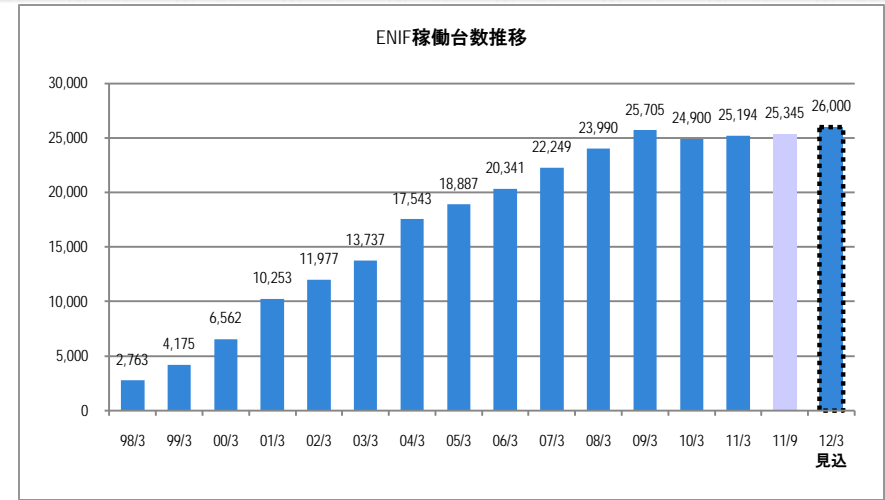
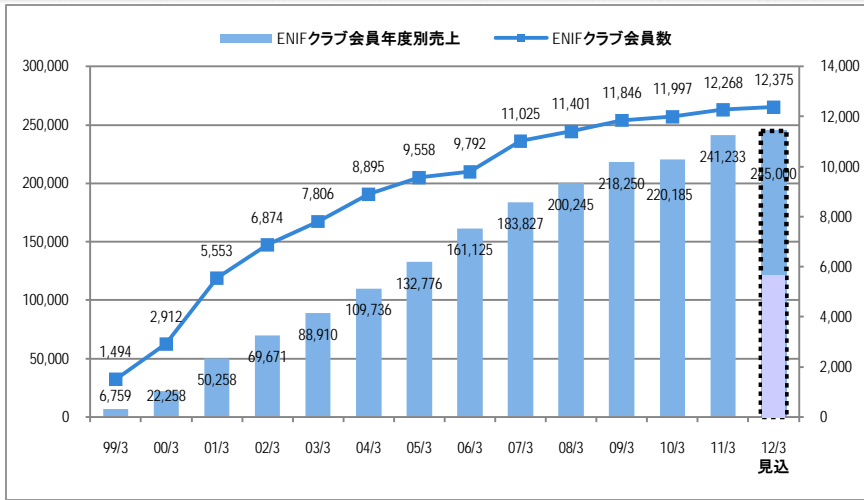
発売:2010年
販売数:1,075台
音声入力を導入し、薬局での服薬指導・薬歴作成の効率化やスキルアップを支援。



診療予約システム連動型
「ホームページ作成サービス」

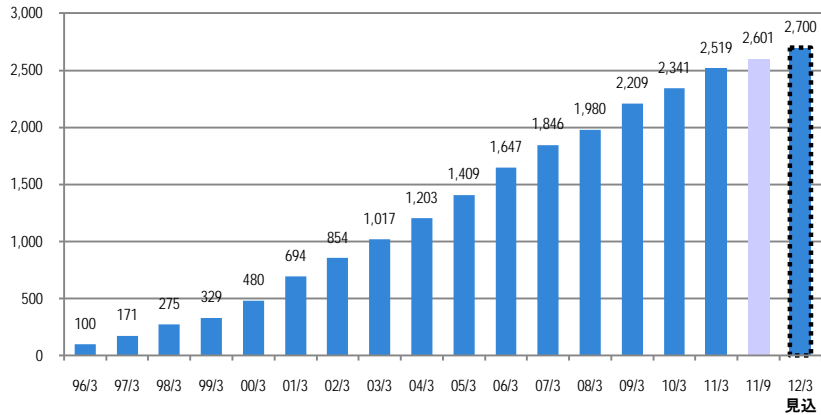
発売:2010年
契約数:741件
ネット・携帯上から予約のできる医療機関が分かる仕組みを構築し、予約診療の定着化を目指す。

顧客支援システムの実績①

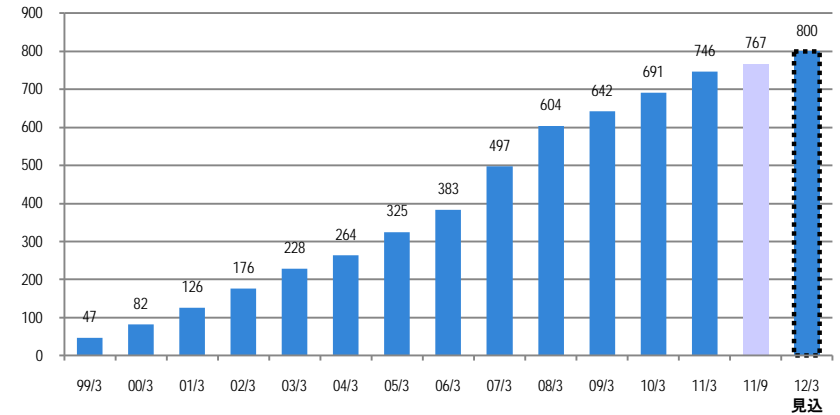


顧客支援システムの実績②

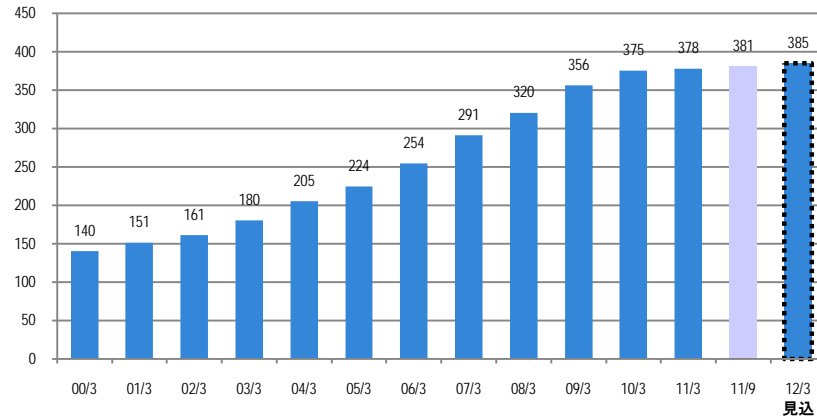
HeLios/SELENE受注台数推移表



ENIファーマシー導入推移表

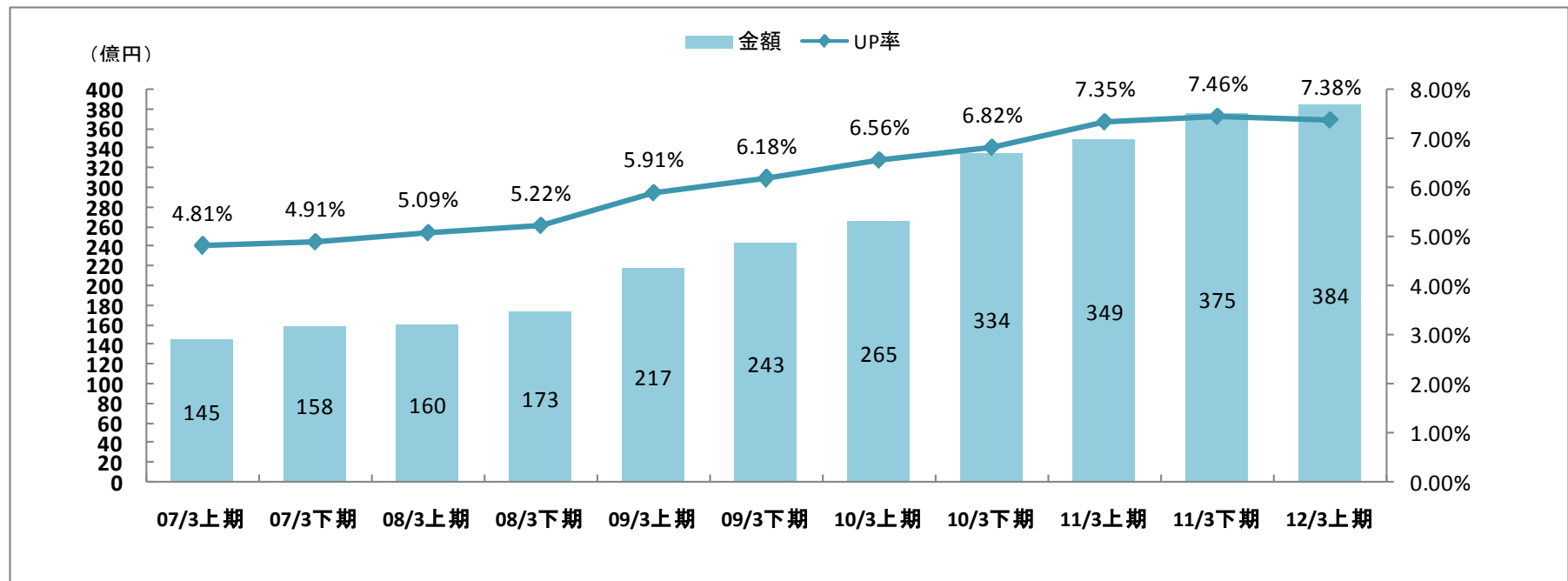


ENIFwin採用累積件数推移



ジェネリック医薬品の取扱高推移

	07/3上期	07/3下期	08/3上期	08/3下期	09/3上期	09/3下期	10/3上期	10/3下期	11/3上期	11/3下期	12/3上期
金額	145億円	158億円	160億円	173億円	217億円	243億円	265億円	334億円	349億円	375億円	384億円
シェア	4.81%	4.91%	5.09%	5.22%	5.91%	6.18%	6.56%	6.82%	7.35%	7.46%	7.38%
UP率	10.69%	8.97%	1.27%	8.13%	25.43%	12.00%	9.05%	26.04%	4.49%	7.45%	2.40%
通期(UP率)	303億円(20.24%)		333億円(9.90%)		460億円(38.14%)		599億円(30.22%)		724億円(20.87%)		384億円





全ては健康を願う人々のために
需要イノベーターへの挑戦 10-12

【IR担当窓口】
コーポレート・コミュニケーション室 広報・IR課
TEL: 03-5259-9520
E-mail: info@so.tohoyk.co.jp

<http://www.tohohd.co.jp/>